

# 戦評用紙

平成 27 年度

北河内地区 春季大会

27年 4月 29日 時刻9:30

女子 【決勝リーグ】

東香里

78

〔 20-8  
19-10  
18-19  
21-11 〕

46

枚方四

第1PD

東香里④⑤⑥⑦⑧, 枚方四⑤⑥⑦⑨⑩。東香里オールマンツースタート, 枚方四ハーフマンツースタート。

リーグ・オープニングゲームの第1戦。立ちあがりには東香里⑤がエンドプレーで先制する。対する枚方四も得点を挙げられず、アウトサイドからの苦しい1対1の攻めで得点が取れない。東香里は⑥を中心にオフェンスリバウンドを握り始める。残り4分東香里の中・外をバランスよく使うオフェンスで15-0に。たまたま枚方四もタイムアウトを取り、20-8東香里リードで1Qを終える。

第2PD

東香里④⑤⑥⑦⑫, 枚方四⑤⑥⑦⑨⑩, 両チームともオールコートマンツースタート。何とか

たい枚方四。⑦のアウトサイドからの連続得点で流れに乗るかと思われたが、東香里は絶妙な間合いからのディフェンスで枚方四のオフェンスのリズムを崩す。東香里のシュートが入らない時間も枚方四はイーージーシュートを落とし、点差を広げない。動きのない展開の中、東香里⑫のオフェンスリバウンドからの得点。バスケットカウントの3Pプレーからのシュートで一気に東香里が点差を開ける。枚方四も単発のシュートが決まるものの、それが続かず39-18で2Qを終える。

第3PD

東香里④⑤⑥⑦⑧, 枚方四⑤⑦⑧⑨⑩, 両チームともオールコートマンツースタート。立ちあがり

東香里は④から⑧の合わせでフリースローを得る。2本目の外れたシュートを東香里⑥が決め3Pプレーにする。⑥が随所でボールつなぎ、リバウンド、④への合わせなどで枚方四のペースにしない。対する枚方四は外からのシュートが続き、東香里が下級生中心のチームはメンバーを替えると少しずつ枚方四のボールが回り出すも、東香里もゲームコントロールし、一進一退の攻防が続く。57-37で3Q終了。

第4PD

東香里④⑨⑫⑬⑭, 枚方四⑤⑥⑦⑨⑫, 両チームともオールコートマンツースタート。枚方四

までよりも足を動かし、ディフェンスを強めるも、東香里はこれをもとせず⑨1対1、④⑨の3Pで得点を重ねる。東香里も少しずつ流れのあるオフェンスを展開するが、焦りからかゴール下のイーージーシュートが決まらず、ミスが続く。東香里は落ち着いて得点を決め続け、78-46東香里の勝利。終始東香里④の巧みなゲームコントロール、⑥のチームを引っ張るプレーが光ったゲームであった。

(戦評/寝屋川十中:池嶋)

# 戦評用紙

平成 27年度

北河内地区 春季大会

27年 4月 29日 時刻11:10

女子 【決勝リーグ】

中宮	54	$\left[ \begin{array}{c} 13-12 \\ 14-12 \\ 18-16 \\ 8-13 \\ 1-2 \end{array} \right]$	55	寝屋川九
----	----	--	----	------

第1PD	中宮 ④⑤⑥⑦⑨ 寝屋川九 ④⑤⑥⑦⑩ 両チームハーフマンツースタート
立ち上がり、中宮が⑤のミドルシュートで先制。対する寝屋川九は速攻をしかけるも、なかなか得点できない時間	
中宮は⑦のローポスト、④⑥の外からのドライブで得点を重ねる。それに対し、寝屋川九は⑥の逆速攻、⑩の外	
するどい1対1で応戦。また⑦がオフェンスリバウンドを2本連続ねじこみ、お互いゆずらず、13-12中宮リードで	
第2PD	中宮 ④⑤⑥⑦⑧ 寝屋川九 ④⑤⑥⑦⑮ 両チームハーフマンツースタート
1Qに続き、中宮は寝屋川九にインサイド勝負されないよう小さく守る。対して寝屋川九は⑤の3P、⑮⑥のミドル	
攻める。中宮も⑧④のドライブからの1対1、④のリバウンドシュートで得点。お互いゆずらず、攻防を重ねていた	
足が止まり、お互い外のパス回しからなかなか攻めきれず、27-24中宮リードのまま2Qを終える。	
第3PD	中宮④⑤⑥⑦⑧ 寝屋川九 ④⑤⑥⑦⑮ 中宮ハーフマンツースタート 寝屋川九オールコートマン
立ち上がり、寝屋川九が⑤の外からの1対1、⑦のローポストでの1対1、④の3Pでリズムにのるが、中宮もその	
が3Pをしずめ、流れにのらせない。その後も寝屋川九⑦と中宮⑦のローポストでの激しい攻防が続き、お互い簡	
させない粘りを見せ、アウトサイドからのミドルシュートで得点を重ね、45-40中宮リードで3Q終了。	
第4PD	中宮 ④⑤⑥⑦⑧ 寝屋川九 ④⑤⑥⑦⑩ 中宮ハーフマンツースタート 寝屋川九オールコートマン
立ち上がり、中宮④のインターセプトからの速攻が決まり中宮がペースをつかみかかったが、寝屋川九⑦の力強	
での1対1でフリースローを与え、それを⑦が落ち着いてしずめた。残り2分15秒で52-47と5点差にされた寝屋	
タイムアウトをとり、その直後、⑤のしかけた速攻に中宮⑥が思わずファール。。すかさず中宮はタイムアウトをと	
寝屋川九はフリースローを2本ともしずめ、DFでオールコートプレスをしかける。3点差まで追いつけた寝屋川九	
でタイムアウト。直後、⑤が3Pをしずめ同点とし、4Qを53-53で終えた。	
延長	中宮 ④⑤⑥⑦⑧ 寝屋川九 ④⑤⑥⑦⑮ 寝屋川九はチームファールがたまっていた中、中宮⑥のドライブに対し
寝屋川九⑦がファール。フリースローを与え、2本中1本しずめた。寝屋川九⑥がミドルシュートを落ち着いて決め返した。	
お互い苦しい1対1が続き、得点に結びつかず、54-55で寝屋川九が接戦を制した。	

(戦評/楠)

# 戦評用紙

平成 27 年度

北河内地区 春季大会

27年 5月 2日 時刻9:30

女子 【決勝リーグ】

東香里	65	$\left[ \begin{array}{l} 20-0 \\ 9-8 \\ 10-14 \\ 26-3 \end{array} \right]$	25	中宮
-----	----	--	----	----

第1PD	東香里④⑤⑥⑦⑧、中宮④⑤⑥⑦⑧でスタート。
東香里はオールコートマンツーマン、中宮はハーフコートマンツーマンでスタート。白⑧からの1対1からリズム かみ、白⑦3Pシュート、白⑫のドライブで得点をテンポ良く取っていく。中宮も④、⑦のドライブで反撃にでる 東香里の組織的なDFに守られ、第1Q20-0で終了。	
第2PD	東香里④⑤⑥⑦⑧、中宮④⑥⑦⑧⑨でスタート。
東香里はオールコートマンツーマン、中宮はハーフコートマンツーマンでスタート。流れは変わらず白⑤の3 速攻、インサイドアウトなど多彩なオフェンスで東香里は点を重ねる。2Qラスト2分、中宮はボール運びをス にできるようになり、黒⑤⑥⑦のゴールで追い上げる。第2Q29-8で終了。	
第3PD	東香里④⑤⑥⑦⑧、中宮④⑤⑥⑦⑧でスタート。
東香里はハーフコートマンツーマン、中宮は2-2-1ゾーンプレスでスタート。中宮はゾーンプレスから東香 ボールを奪い、黒④のミドルシュート、⑦のポストからのドライブで流れをつかむ。3Q残り3分で東香里は速 回しでプレスダウンを行い、白⑥⑧でリードを広げる。第3Q35-20で終了。	
第4PD	東香里④⑤⑥⑦⑧、中木田⑤⑥⑦⑧⑨でスタート。
東香里は2-2-1ゾーンプレス、中宮はハーフコートマンツーマンでスタート。白⑤⑧のミドルシュート、④の ポストプレイでリズムをつかむ。最後まで東香里の足が止まることはなく走り続け、30点のリードを広げた。 4分両チームスタートメンバーを温存し、白⑩⑪⑫⑭⑮、黒⑪⑫⑬⑮⑰が交代して、全力でプレーをし続けが 最終的には65-25で試合終了。	
(戦評／樟風中:井本)	

# 戦評用紙

平成 27 年度

北河内地区 春季大会

27年 5月2日 時刻9:30

女子 【決勝リーグ】

枚方四	33	{	5 - 15 6 - 9 7 - 8 15 - 8	}	40	寝屋川九
-----	----	---	------------------------------------	---	----	------

第1PD

白 枚方四⑤⑥⑦⑨⑩ 黒 寝屋川九④⑤⑥⑦⑩でスタート。

黒⑦がフリースローからバスケットカウントまで得点を重ねていく。白はなかなか攻めきれずに得点が取れな

黒⑦がこのピリオド2回目のバスケットカウントで点差を離していく。最後は黒⑤の3ポイントが決まり。15-

黒リード。

第2PD

白⑤⑥⑦⑧⑨ 黒④⑤⑥⑦⑩でスタート。

黒は⑥のミドルシュート、⑦のリバウンドシュートを中心に得点を重ねていく。白は⑤を中心に攻め、⑧のシ

などで対抗する。1分を切り、黒④の速攻で点差を広げる。最後は白⑤のフリースローが決まり24-11で黒

第3PD

白⑤⑥⑦⑧⑨ 黒④⑤⑥⑦⑩でスタート。

取り戻し、⑥のミドル、⑨の3ポイントが決まりだす。その後、黒⑥がドライブからシュートを決めて、このピリ

32-18で黒リード。

第4PD

白⑤⑥⑦⑧⑨ 黒⑤⑥⑨⑩⑪⑬でスタート。

白⑦のシュートでスタート。白がDefをオールコートであたってくる。白⑤、⑩のシュートが決まり、残り2分で

33-38までつめる。しかし黒はフリースローを確実に決めて、白を振り切る。スコアは40-33で黒の勝利

(戦評/樟風中:山口 賢)

# 戦評用紙

平成 27 年度

北河内地区 春季大会

27年 5月 2日 時刻12:50

女子 【決勝リーグ】

寝屋川九 31  $\left[ \begin{array}{l} 8-13 \\ 5-22 \\ 10-13 \\ 8-17 \end{array} \right]$  65 東香里

第1PD

白のユニフォーム寝屋川九中④⑤⑥⑦⑩ 黒のユニフォーム東香里中④⑤⑥⑦⑧

両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。黒は④のポストアップ、⑤、⑧のドライブやリバウンドルー  
粘り強く得点を重ねる。白は黒の激しいDefをくずせないが④⑤のロング、3Pシュートなどでくらく。ラス  
のワンオンワンで得点し、1クォーターは13対8で黒のリード。

第2PD

白は④⑤⑥⑦⑮ 黒は④⑥⑦⑧⑫でスタート。

始まりから黒⑧のドライブ、⑥のポストプレーで連続得点し白はたまらずタイムアウト。タイムアウト後、黒は  
ゾーンプレスをしかけ、さらに得点を重ねる。白はこれまでリバウンドやオフェンスの要であった⑦が四つめ  
ファールをおかし、ベンチに下がる。前半終わって35対13で黒がリード。

第3PD

両チームスタートのメンバーで始まる。黒は前半の勢いそのまま始めから得点を重ねる。

点差があいた所で黒はメンバーを変えながら2-2-1ゾーンプレスで白を苦しめる。白も⑦のリバウンドシ  
ポストプレーで攻め、ファールをもらうも、フリースローがなかなか決まらない。3クォーターは48対23で黒の  
のまま。

第4PD

始めから黒⑧の連続得点や⑥⑦のポストプレーで白を突きはなす。黒のメンバーチェンジ

オールコートマンツーマンプレスにDefを変え、リズムを取り戻す。終わってみれば65対31で黒の強さが目  
であった。

(戦評:寝屋川三中/森本)

# 戦評用紙

平成 27 年度

北河内地区 春季大会

27年 5月 2日 時刻12:50

女子 【決勝リーグ】

中宮 40  $\left[ \begin{array}{c} 11-22 \\ 0-6 \\ 19-15 \\ 10-13 \end{array} \right]$  56 枚方四

## 第1PD

白#4、5、6、7、8 黒#5、6、7、9、10でスタート。

ジャンプボールは白が勝ち、#6のジャンプシュートが決まる。白オールコートで当たるが黒落ち着いて#7を決める。白#6のシュート、#7のバスケットカウント。たまた黒がタイムアウト。その後、黒の流れがよく#6、#9のシュート、パスカットからの速攻が決まり、いっきに白を突き放す展開に。11-22で黒リードで終

## 第2PD

白#4、ドライブが決まり、流れが白に傾くかと思われたが、黒#8がゴール下のシュートを3本連続で決め、追い上げを許さない。白、終了まぎわにファウルをもらい、2ショットとなるが、決めきれず、13黒15点リードで終了。

黒#6ドライブ、リバウンドシュートが決まり、点差が開く。しかし、白も#6を中心とし、得点を重ね、13点差つめよるが、黒の#5の3ポイント、#9のジャンプシュートが決まる。白、たまた黒がタイムアウト。しかしその勢いおさまらず、30-43黒のリードで終了。

## 第4PD

開始直後、黒#7がフリースローをもらい、1本沈めるが、その後お互いに得点の入らない時間が続く。黒がタイムアウト。その後、白#7のバスケットカウントに始まり、#6、#4のシュートが続けて決まり、6点差までつまる。黒の外のシュートがよく決まり、点差を広げ、40-56で黒の勝利。

(戦評/さだ中:植田 瑛一)